令和８年度第１回半田市スポーツ推進審議会議事要旨

開催日時	令和８年１０月１日（木）	１４時３０分～１５時４０分
開催場所	市役所４階　庁議室	
会議次第	１．開会 ２．新任委員委嘱式 ３．委員、事務局自己紹介　資料１ ４．【議題】 （１）市民の体育・スポーツに関するアンケート（案）について 資料２ （２）その他 ５．閉会	
出席委員 （欠席委員） ※敬称略	（委員長）加藤博吏 （委員）田中益生、日置さと子、渡邉彩、近藤和昭、岩田洋子、田村悦子、犬塚泰介、榊原松成（榊原孝彦、梶川高彦、磯貝雅代）	
事務局	教育部長、スポーツ課長、同課振興担当主査、同主事、学校教育課指導主事	
次　　第	議事概要	
委嘱式	教育部長より、令和８年度から改選された１名の委員に対し委嘱状の伝達を行いました。委嘱期間（令和８年４月１日から令和９年３月３１日）	
【議題】（１）市民の体育・スポーツに関	（事務局） ・市民の体育・スポーツに関するアンケート（案）について資料２等に基づいて説明	

するアンケート（案）について	――――――――（質疑）―――――――――――――――――――― （日置委員） 今回、実際に回答してみたところ、公園、公民館、空き地などが一緒の区分になっていました。公民館は体育館などの公共施設の方に入れた方がよいのではないでしょうか。公民館でも教室などをいろいろ行っています。 （事務局） ほかの公共施設にも運動ができるスペースがありますので、屋内の公共施設が選べる選択肢を一つ追加したいと思います。 （田村委員） 調査対象の年齢についてですが、高校生や中学生は対象にならないのでしょうか。 （事務局） 本アンケートは、今後のスポーツ施策の参考にすることを目的に実施いたしますが、国の調査対象に合わせ、20 歳以上の方のスポーツ実施状況を確認する内容としています。 （田村委員） 「全員にお聞きします」という問 19 から始め、そのほかの共通の質問に答えた後で問 1 に進む順序ではいけないのでしょうか。スポーツをやらない人にもいろいろ聞く形になります。全員が答える質問を先にして、その後に進む方がよいのではないかと思いました。 （事務局） 前回（第１８回）から現在の順序にしています。普通のアンケートでは、年齢などの基本的な質問を最初に聞くので、おっしゃるとおり、その方が自然な感覚だと思います。ただ、紙のアンケートは面倒に感じる方も多く、途中でやめてしまい、せっかく答えていただいても参考にできない回答が多くありました。そのため、すぐに答えられる質問を最後に置き、途中で面

	倒だと感じても、「これなら答えられる」と最後まで回答していただけるよう、あえてこの順序にしています。 （渡邉委員） 　スポーツをしている人には、なぜ行ったかなどを回答する欄があります。一方、スポーツをしていない人に「なぜスポーツをしないのか」を聞かないのはなぜでしょうか。施設がないからしないという人や、子育てなどの事情でできない人もいると思います。その理由を聞かない点が疑問でした。 （加藤会長） 　1 年前に比べてスポーツができなくなった人には、仕事が忙しいとか、やりたい施設がないという選択肢があると思いますが、最初からスポーツをしていない人にも、しない理由を尋ねてはどうかということですね。 （事務局） 　回答によって飛ぶ先を工夫したいと思います。現在は問 7 で「現在スポーツをしておらず、これからもしない」と答えた人が問 15 に進む流れになっています。その前に「スポーツをしない理由は何ですか」という質問を置き、その後の設問へ進む形はできそうです。該当する選択肢を選んだ方について、なぜそうなったのか、その理由を聞けるように内容を修正し、回答の流れを組み替えます。 （榊原松成委員） 　競技の選択肢についてですが、レクリエーションスポーツに、スポーツウエルネス吹矢が入っています。スポーツ吹矢は、レクリエーションスポーツとは言い難い、本格的な競技だと思います。高齢者だけではなく、集中力も必要なスポーツで、レクリエーションという扱いからは離れている気がします。 （事務局） 　スポーツ庁のアンケート項目を参考にしています。その中で、

	スポーツウエルネス吹矢がレクリエーションスポーツに組み込まれており、それを参考にしたためこの分類になっています。 （加藤会長） 　よく御存じの方ほど、そう感じると思います。ただ、国の調査の分類ではこの中に入っているので、今回はその分類に沿って入れておくことでよいのではないでしょうか。 （榊原松成委員） 　老人クラブでは輪投げも行っています。規定に沿って実施しており、レクリエーションスポーツとして扱えると思います。健康大会でも多くの人が参加しますので、どこかに入れていただければと思います。 （田中副会長） 　スポーツ推進委員の活動では、以前からニュースポーツという表現を使っていますので、そのような方法もあります。 （加藤会長） 　ニュースポーツという分類を別に作ると、どこまで含めるかという問題もあります。ある程度区切って、ほかは「その他」に書いてもらう形でよいと思います。輪投げは例示に追加するということでよろしいですか。 （事務局） 　はい、市内で活発に行われているとのことですので、輪投げは入れさせていただきます。例示があれば、これもスポーツなのだと分かり、回答しやすくなると思います。 （田中副会長） 　アンケートの趣旨から少し外れるかもしれませんが、スポーツクラブの会員数のことを考えると、このような機会に「スポーツクラブを知っていますか」「スポーツクラブに加入していますか」と聞いてみたい気がします。設問に入れるのは難しいでしょうか。

	（事務局） 　会員数は既に把握していますので、会員とそれ以外の人のスポーツ実施率の違いを見る目的で設問を設けることは考えられると思います。ただ、前々回は 30 問以上あり、当時は全て紙で回答していただいていましたが、最後まで回答する意欲が続かないこともありました。そのため、聞く以上は何かに生かさなければならないという考えで、質問を精査してきました。 （加藤会長） 　聞きたいという委員の気持ちも分かります。一方、質問を多くすると回答してもらえなくなるという苦労があります。今回は、最低限必要な内容を聞くという整理です。項目をあまり増やさないという考え方について、皆さん御了承ください。 （岩田委員） 　「ゲーム機等を利用した運動」は、e スポーツを含むのかと疑問に思いました。「e スポーツではありません」など、一言注記があると、回答者が迷わず考えやすいと思います。 （事務局） 　単なるゲームを指すものではないということが分かるよう、スペースを見ながら注記を入れたいと思います。 （事務局） 　審議会終了後にご意見やご不明な点等がありましたら、事務局までご連絡をください。今回、頂きました意見等も踏まえ再度（案）の修正を実施し、後日、委員の皆様に情報展開します。
閉会	（事務局） 　頂きました意見の状況から、大きく修正が生じないことから、第２回のスポーツ推進審議会は、書面にてご報告させていただきます。
	１５：４０（終了）